

感震ブレーカーアダプター ヤモリオプション

【パワーヤモリ】

GV-AP1

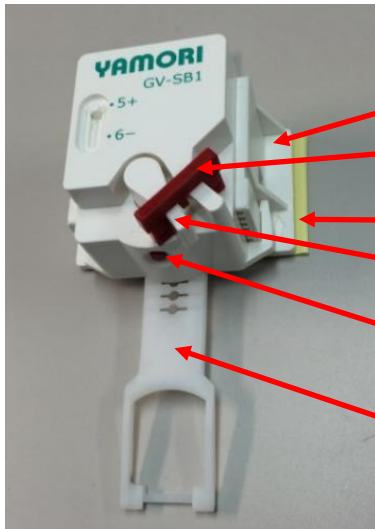
取付説明書



# 【各部の名称と用語解説】

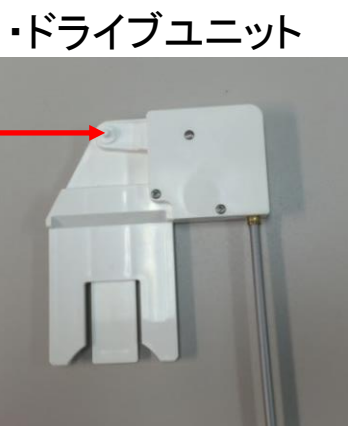
## 1) 構成と名称

### ◇ヤモリ



- ・台座
- ・アームフック
- ・剥離紙
- ・セットアーム
- ・テストスイッチ
- ・バンド

### ◇パワーヤモリ



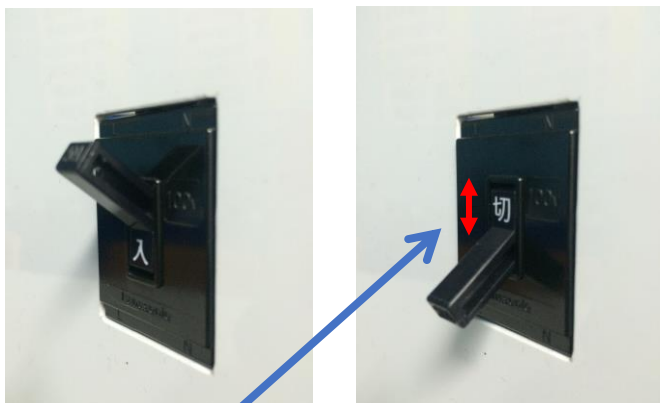
・アーム突起部

パワーヤモリ用ケーブル

- ・バンド
- ・回転スイッチ

## 2) ブレーカーについて

### ◇ロングストローク



この距離（入と切の差）が1.5cm以上のブレーカーをロングストロークと言います。

※ 8ページを参考に設置場所を決めてください。

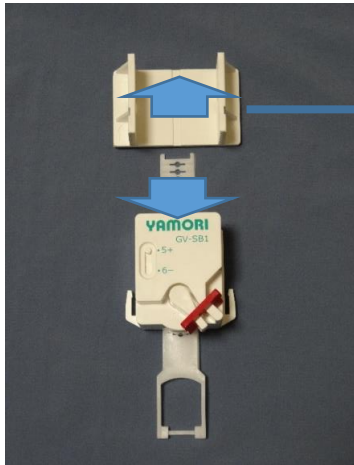
## 3) その他

### ◇アルコールパッド

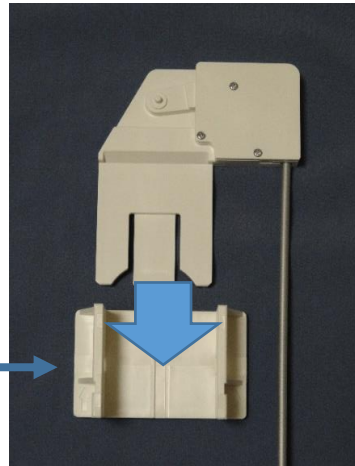


# 【パワーヤモリ設置方法】

## Step1. パワーヤモリにヤモリ本体をセット



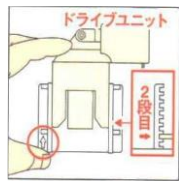
1. ヤモリ本体を台座から取り外します



2. 台座(下から2段目)にパワーヤモリのドライブユニットをセットします

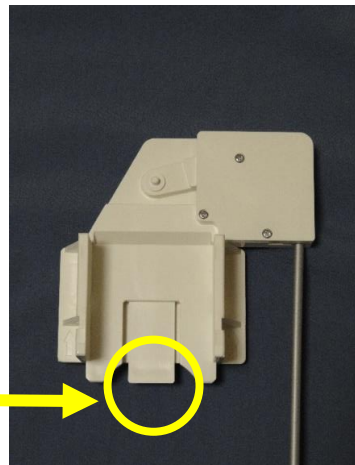
### 1 ドライブユニットと台座の組立

- ドライブユニットをヤモリの台座の下から2段目にカチッと音がする迄、挿入します。  
※注1

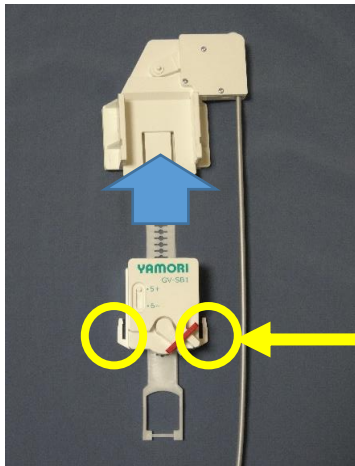


注1：台座に刻まれた矢印の向き↑を目安にして下さい。

セットした際にカチッと音がします

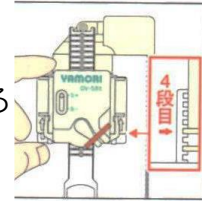


3. セット完了後の写真です



## 2 台座にヤモリ本体を取付け

- ヤモリ本体を台座の下から4段目にカチッと音がする迄、挿入します。



セットした際にカチッと音がします

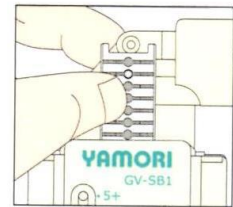
## 4. セット完了後の台座にヤモリ本体を挿入します



ドライブユニットの\*アーム突起部をバンドの上から2穴目にセットします

## 3 ドライブユニットとバンドの接続

- ドライブユニットのアーム突起部をバンドの上から2つ目の穴にはめ込みます。



## 5. セット完了後の写真です



## 4 パワーヤモリの取付け位置決め

- 分電盤内のメインブレーカー（スイッチ上部もしくは下部）に取り付け位置を決めてください。



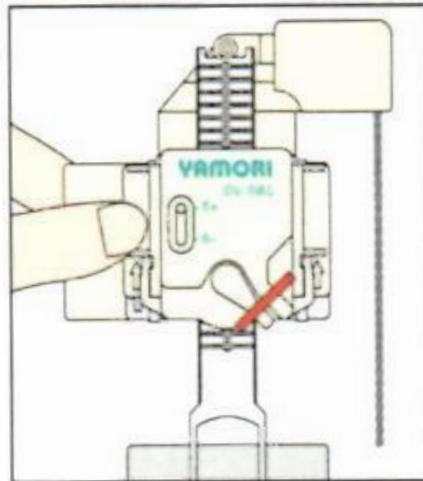
パワーヤモリ用ケーブル

## 6. ヤモリ本体を壁や分電盤側面への取付位置決めをして、ケーブルの長さを確認しながらパワーヤモリを分電盤への取付位置決めをする

## Step2. ヤモリ台座の接着固定

### 5 ヤモリ台座の壁面接着固定

- ヤモリ本体の取付位置を決め、壁面をアルコールパッドで清掃し、よく乾かします。
- ヤモリ台座裏のハクリ紙（小）を剥がし壁面に仮固定します。取付位置が正しい事を確認し外に出ているハクリ紙（大）を引き抜きます。
- **最後に、ヤモリ本体を5回程押し込み本固定します。**



## Step3. パワーヤモリの接着固定

### 6 パワーヤモリの接着固定

- パワーヤモリの取付位置を決め、その場所をアルコールパッドで清掃し、よく乾かします。
- パワーヤモリ台座裏のハクリ紙（小）を剥がし壁面に仮固定します。取付位置が正しい事を確認し、外に出ているハクリ紙（大）を引き抜きます。
- **最後に、パワーヤモリ本体を5回程押し込み本固定します。**

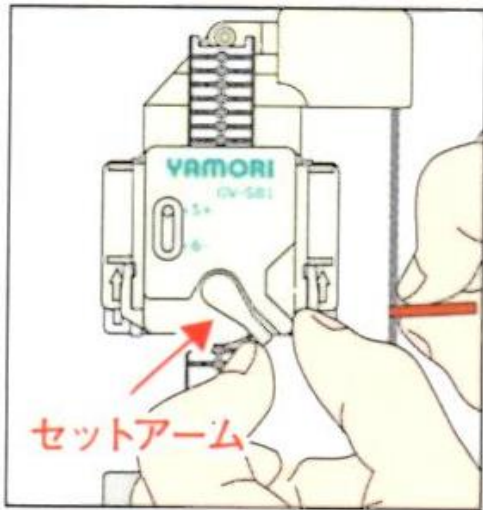
※万が一、動作テストでブレーカースイッチが落ちない場合、パワーヤモリ側の台座の高さや、バンドの長さを変更し調整して下さい。



## Step4. ヤモリ本体のアームフックを取り外す


### 7 アームフックの取り外し

- 右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。
- 右手でセットアームを保持したまま、さらに強く押し込みセットします。



## Step5. 動作テスト

### 8 動作テスト



- ヤモリのセットアームが右にセットされている事を確認し、パワーヤモリの回転ダイヤルを時計回りに「SET」位置まで回転させてセットします。
- ヤモリとパワーヤモリがセットされている事を確認し、ヤモリのテストスイッチを押して、ブレーカーがOFFになるかを確認します。
- ブレーカーが無事OFFになる事を確認したら、上記の様に再度セットし完了です。



# 【取付け場所について】

## 1. 通常

ブレーカースwitchの下部に取り付けて下さい。  
(スイッチを引き下げる方式)



2. ブレーカースwitchが~~※~~ロングストロークの場合、  
ブレーカースwitchの上部に取り付けて下さい。  
(スイッチを押し下げる方式)

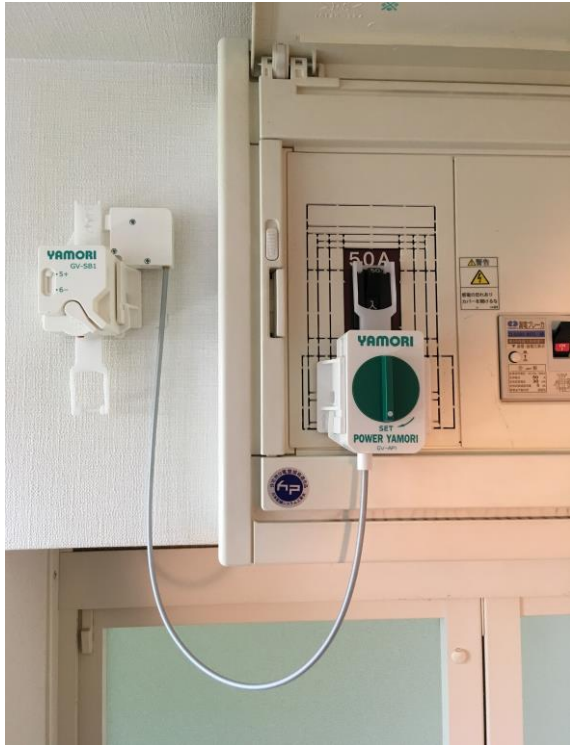


ケーブルを固定している  
クリップは製品には含まれて  
おりません。

注) ~~※~~ 3ページ参照



# 【パワーヤモリ取付例】



# 【パワーヤモリ復旧方法1】



セットレバーが左側  
になっている

ブレーカースイッチ  
OFF

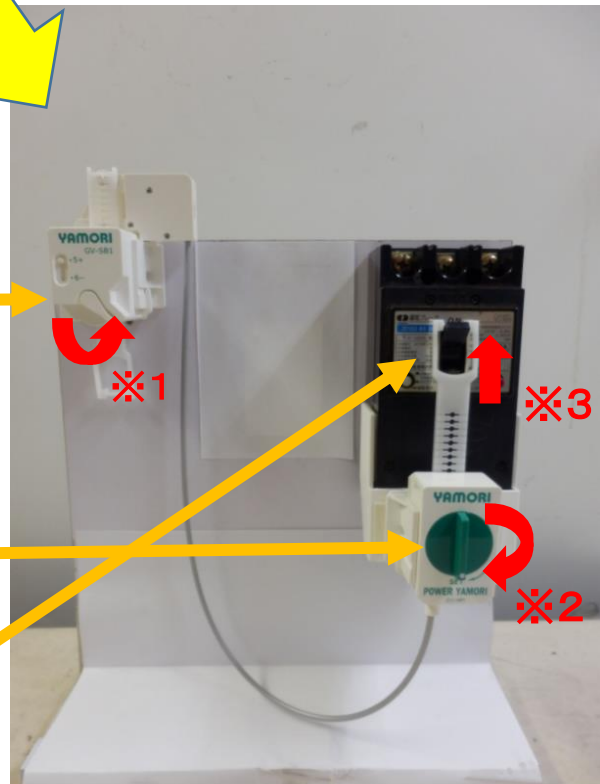
回転ダイヤルの白い○が  
上を向いている

地震により作動した状態

①セットレバーを右側  
にひねる

②回転ダイヤルを  
カチッと音がするまで右に回し  
白い○を最下部に合わせる

③ブレーカーのスイッチを  
上(ONの状態)に戻す



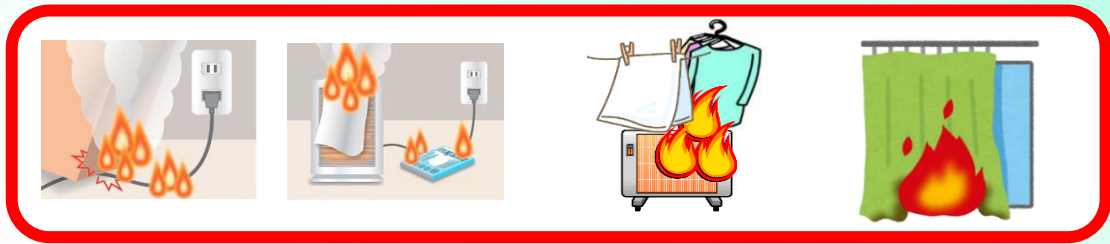
レバーを戻し復旧した状態

## 【パワーヤモリ復旧方法2】

### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(注意点)

- 建物が全壊や半壊となった場合には復旧しないで下さい。
- 通話可能な電話と使用可能な消火器を用意して下さい。
- 復旧作業は明るい時間帯になるべく2名以上で行って下さい。
- 電化製品のコンセントを全て抜いて下さい。

チェックをしないと**こんな事**に



### 感震ブレーカー作動後の復旧方法(手順)

- 1) 最初に、分電盤の**子(分岐)ブレーカー**を**全てOFF**にする。
- 2) 【ヤモリ】のレバーをロックされるまで右側に捻り**ON**にする。 ※1
- 3) 【パワーヤモリ】のダイヤルを右側に捻り**ON**にする。 ※2
- 4) 【パワーヤモリ】をセットしている**メインブレーカー**を**ON**にする。 ※3
- 5) 最後に、安全を確認しながら子(分岐)ブレーカーを1つずつ**ON**にする。

( ※1 ※2 ※3 は10ページ参照)

◆漏電ブレーカーは、ONの状態に戻す時にリセットしないとスイッチが戻らないタイプのものがあります。ご注意ください。  
(リセットの方法は、リセットボタンを押しながら、又は一度押してから戻す、或いはスイッチを一旦下げ切ってから戻すなど機種によります。)



**LINTEC21**